



思考の方法

分類する

マトリックス（表）

物事をグループ分けすることで、整理され、物事どうしの関係性がわかりやすくなります。
分類するときは観点を明確にします。

マトリックス（表）

	観点①	観点②
観点A	Aかつ①	Aかつ②
観点B	Bかつ①	Bかつ②

マトリックス（表）は、行と列ごとに観点を割り当てて物事を分類するためのチャートです。上のマトリックスでは、観点A、B、①、②を設定することで、

- ・ 観点Aと観点①の両方にあてはまるもの
 - ・ 観点Aと観点②の両方にあてはまるもの
 - ・ 観点Bと観点①の両方にあてはまるもの
 - ・ 観点Bと観点②の両方にあてはまるもの
- の四つに分類することができます。

分類の観点数が多い場合は、行や列を増やそう。



マトリックス（表）の使い方の例

情報伝達的手段	一方的	双方向的
相手が近くにいる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き置き ・ 回覧板 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話 ・ 手話
相手が遠くにいる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞 ・ ラジオ ・ テレビ ・ 手紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メール ・ チャット ・ 電話 ・ ビデオ通話

上の図では、さまざまな情報伝達の手段を、「相手が近くにいる場合」に使うものか「相手が遠くにいる場合」に使うものか、また「一方的」なものか「双方向的」なものかという観点を設定して分類しています。
こうすることで、それぞれのます目に分類された物事の多さ・少なさを比較したり、同じます目に分類された物事どうしの共通点・相違点を考えたりすることができます。



思考の
方法

分類する

マトリックス（表）

マトリックス（表）
